

執筆・紙面構成 山本 杏奈 船橋市立若松小学校4年

漁師の目印、灯明台

船橋大神宮 きれいな眺望



かつて漁師の目印として活躍した「灯明台」

船橋大神宮は、神話の時代である皇行天皇のころに建てられました。神様は、トヨウケヒメという作物の神様でした。ヤマトタケルノミコトが戦勝祈願を願った場所として、漁師たちにも使われていました。灯明台は、明かす場所には、明治時代に出来た灯明台といわれています。昔は、灯明台に火をともし、海で漁をする漁師たちの目印として活躍していました。1月1日



「わらへび」が巻き付けられた日枝神社の鳥居

私は、船橋市にある長福寺と日枝神社を訪れました。「夏見山」という山号で親しまれています。昔、この場所には夏見城という城がありました。戦争でなくなり、その跡に「わらへび」が巻き付けられた日枝神社の鳥居があります。夏見地区にあり、お寺がで、ここには戦国時代に建てられたお寺があります。

船橋市内の児童が、地元で伝わる民話「雪どけ塚の白へび」をテーマに取材や写真撮影など新聞制作に挑戦した。日本財団などオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」の一環で、国内に残された海にまつわる「民話」「伝承」を選定し、子どもがさらに次世代へと伝える機運醸成を狙っている。船橋市立若松小学校4年の山本杏奈さんが執筆した紙面を紹介する。

兵士とむらり雪どけ塚

ぐぐりかりの寺社巡る



干潟の生物や歴史を紹介する「ふなばし三番瀬環境学習館」の担当者

昔から漁が盛んだった三番瀬の生物の種類は96種類と多く、鳥が飛来します。その中でもよく見られるのは、サギです。大きさは、大、中、小とあり、三番瀬では、その中でも大と小がよく見られます。お腹に石を入れて、餌を食べます。実は、三番瀬にある「ふなばし三番瀬環境学習館」は、サギを紹介しています。

「雪どけ塚」と呼ばれる不思議な小高い塚があった。松の木の根元の穴に住む白へびは夜になると姿を現し、光る目の美しさと、やさしく気品のあるたたずまいで村人を魅了していた。ある日、出漁していた漁師が嵐に遭い、沖に流された。遠方に見つけた青い光を白へびの目だと信じて死に物ぐるいでかいをこぎ続けた…。

漁が盛んな三番瀬 多様な生物、今も生息 ますよつと願いが込められています。私が面白いな、と思ったのが庚申塔(こうしんと)です。庚申塔というのは、いろいろな場所から、仏様や明王様を集めて来たに似ている、その方向の先にあるのは伊勢神宮だということです。なせ、「わらへび」が作られたかという「雪どけ塚」と言われるように



山本杏奈さん 私は、初めて記事を書くのドキドキしました。でも実際に取材をしてみると、取材がとても楽しかったです。特に日枝神社に取材したときに、わさわさ私たちに、記事の書き方を教えてくださいました。ありがとうございます。

編集後記 ドキドキ記者経験 船橋市立若松小学校4年 山本 杏奈さん

海と日本プロジェクト さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進している。

雪どけ塚の白へび 昔、夏見城を囲む土塁の近くに「雪どけ塚」と呼ばれる不思議な小高い塚があった。松の木の根元の穴に住む白へびは夜になると姿を現し、光る目の美しさと、やさしく気品のあるたたずまいで村人を魅了していた。ある日、出漁していた漁師が嵐に遭い、沖に流された。遠方に見つけた青い光を白へびの目だと信じて死に物ぐるいでかいをこぎ続けた…。

パンスク PANSUKU おいしいパンも、旅はう。パン屋さんを訪れた時の幸せを、ご自宅でも。パンスクは、旅に出かけるように、まだ知らない「おいしい」に出会う体験を、提供しています。全国には、素敵なパン屋さんがたくさんあります。どんなお店のパンが届くかは、箱を開けてからの楽しみ。日本中からあなたのもとへ、パンたちがやってきます。

全国どこかのパン屋さんから、お店自慢のパンが届く定期便「パンスク」。パンスクは、旅に出かけるように、まだ知らない「おいしい」に出会う体験を、提供しています。全国には、素敵なパン屋さんがたくさんあります。どんなお店のパンが届くかは、箱を開けてからの楽しみ。日本中からあなたのもとへ、パンたちがやってきます。

料金 1回 3,990円(税込) パン代 3,132円 + パンの旅費 858円(全国一律) ※冷凍送料(税込) 選べるお届け間隔 2週間に1回 / 1ヶ月に1回 / 2ヶ月に1回 ※変更可能